

# マリンレスキュー ジャーナル

Vol 112 No2  
2020 | 8月号

## CONTENTS

- 02 青い羽根募金活動70周年を迎えて／公益社団法人 日本水難救済会会長
- 03 青い羽根募金活動レポート2020  
令和2年度青い羽根募金強調運動／青い羽根募金支援自販機 あれこれ／  
青い羽根募金70年のあゆみ
- 07 水難救済思想の普及活動レポート
- 10 マリンレスキューレポート  
Part1 救難所NEWS 海難救助訓練ほか／水難救助等活動報告  
19 Part2 洋上救急NEWS 洋上救急活動報告／洋上救急慣熟訓練／  
洋上救急支援協議会の活動状況
- 27 レスキュー41～地方水難救済会の現状(シリーズ⑩)  
鳥取県水難救済会／富山県水難救済会
- 31 新設救難所の紹介
- 32 連載 マリンレスキュー紀行  
海の安全安心を支えるボランティアたちの群像  
特定非営利活動法人 神奈川県水難救済会 平塚救難所／茅ヶ崎救難所
- 38 全国地方救難所のお膝元訪問  
ニッポン港グルメ食遊記【平塚救難所】
- 39 MRJ フォーラム  
日本水難救済会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、定時社員総会等を開催／  
MRJフォーラム投稿 鳥取県水難救済会設立20周年にあたって／  
社団法人 大日本帝国水難救済会の「明治32年度報告」が寄贈されました
- 43 MRJ 互助会通信
- 46 編集後記

表紙：特定非営利活動法人 神奈川県水難救済会 平塚救難所

写真：茅ヶ崎市のヘッドランドビーチ(茅ヶ崎海岸)



## 青い羽根募金活動70周年を迎えて

公益社団法人 日本水難救済会  
会長 **相原 力**

全国の地方水難救済会をはじめ全国各地の救難所・支所において昼夜を問わず海難救助出動等にご尽力をいただいています約51,000人の救難所員の皆様、海上を活動の場とする船員の皆様の安心安全を支える洋上救急事業にご協力をいただいています医療関係者の皆様及びこれらの事業にご支援をいただいている海上保安庁や自衛隊など関係機関の皆様並びに街頭などで積極的に青い羽根募金活動を行っていただいている皆様方に心より感謝申し上げます。

本会や地方水難救済会が実施しております青い羽根募金活動は、昭和25年(1950年)に開始されて以来、この7月で70周年を迎えることとなりました。

青い羽根募金は、本会及び地方水難救済会の活動資金の一端を担うものとして重要であり、この70年の間、街頭募金をはじめ青い羽根募金自動販売機の設置等青い羽根募金活動に皆様方のご尽力をいただいております。昨年度は、全国の合計で85,905,229円の募金があり、救難資器材の整備や海難救助訓練などに活用させていただいております。

今後も、青い羽根募金活動を積極的に推進してまいりたいと考えておりますので引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、地方水難救済会や洋上救急地方支部では、総会等各種行事が取り止めとなっているところが多いと承知しておりますが、本会も、例年、名誉総裁の高円宮妃殿下にご臨席いただき6月上旬に開催しておりました名誉総裁表彰式典や懇親会につきましては、取り止めることといたしました。

全国各地で海難救助活動や洋上救急事業あるいは青い羽根募金活動などを行っておられる皆様方におかれましても、新型コロナウイルスの感染予防対策に十分ご配慮のうえ、お元気でお過ごしくくださいますようお願い申し上げます。